
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第73号(2019.10.15)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第73号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、地域の景観形成や活性化のために遊休農地等を活用した取組を行っている組織と、農道や水路等の点検記録に基づいた農業用施設の維持管理を行う組織を紹介します。

事務局からは、活動組織へのインタビュー、イベント出展報告、農村振興局フェイスブック、(一社)地域環境資源センターのイベントのご案内について紹介します。

---第13号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆ こみのねこ 小蓑猫の手クラブ (香川県 みき 三木町) ☆

☆ たかみどうみなみ 高御堂南地域環境保全会 (愛知県 いなざわ 稲沢市) ☆

2. 活動組織へのインタビュー

☆ はすがた 蓮瀧環境保全チーム (新潟県 きたかんばら 北蒲原郡 せいろう 聖籠町)

3. 「コープみらいフェスタ 池袋サンシャインシティ」に出展しました!

4. 農村振興局フェイスブック

☆ カメラを構えずにはいられない! 赤と緑のコントラスト ☆

☆ 台風・大雨・地震などの被災地域で多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる農業者の皆様へお知らせ ☆

5. 「令和元年度 田園自然再生活動の集い」開催のご案内

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～ 小^こ蓑^{みの}猫^{ねこ}の手クラブ(香川県 三^み木^き町)～ ■

～地区概要～

香川県三木町南部の讃岐^{さぬき}山脈に囲まれた標高 300m～400mの中山間農業地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 16.3ha、畑 8.4ha、水路 7.1km、農道 9.6km、ため池 11カ所。

～主な取組～

- ◎本組織は、地域の景観形成や活性化のために遊休農地等を活用した植栽や地域住民を巻き込んだ地域活性化の活動に力を入れて取り組んでいます。
- ◎景観形成の取組として、遊休農地にヒマワリ、農道沿いにシバザクラを植栽しています。植栽した植物は、地区内だけでなく地区外から訪れる通行者の心を和ませており、通行者は農業者との風景談義に花を咲かせています。
- ◎また本組織は、小蓑地区の活性化を目指して「希少糖」の研究をしている地域住民のグループや営農組合等が構成団体であることから、希少糖を多く含む「ズイナ」を景観作物として遊休農地等に植栽しています。ズイナから抽出した希少糖を用いた商品の販売など、地域独自の取組に協力しています。
- ◎さらに多面的機能の増進を図る活動として、農業・農村の持つ多面的機能について若い世代からの理解を得るために中学生や高校生、大学生を対象とした農業体験を実施しています。
- ◎今後も引き続き、各種のイベントを開催して農村の持つ魅力を発信することで、幅広い世代に関心を持ってもらうとともに、新たな構成員の加入を募り組織強化に努めていきます。



遊休農地に植栽した
ヒマワリの下草刈り



ズイナの管理



大学生と中学生による
田植え体験

【小蓑猫の手クラブ 阿部泰人】

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～^{たかみ}高御堂^{とう}南^{みなみ}地域環境保全会(愛知県^{いなざわ}稲沢市)～ ■

～地区概要～

愛知県西部にある稲沢市の東部に位置し、水稲やなす、たまねぎなどを主に生産する都市近郊型の農業地域で活動。

活動範囲は、田 32ha、畑 2ha。対象施設は、水路 5km、農道 10km。



水路の泥上げ

～主な取組～

◎本組織は、農道や水路等の点検や機能診断を行って点検記録を整理し、その内容を元に計画策定を行っています。これに基づいて農道法面の草刈りや水路の泥上げ等に取り組むことで、農業用施設の適切な維持管理を行っています。

◎また、地域が共同管理している水路において、田植え・中干し・水引き時期に戸蓋（堰板）の設置・撤去を行っています。取り外した後は、翌年用に戸蓋に英数字を表示し、該当する路線毎に保管することで効率的な配水管理を行っています。

◎一方で、農村環境保全活動にも力を入れており、こども会やランドゴルフ会と連携した清掃活動を実施して地域の美化に取り組んでいます。このような活動を通じて、非農家の方にも農業へ興味をもってもらうとともに、農業用施設の有する多面的機能や維持管理の大切さが改めて認識されてきています。

◎これらの活動が評価され、平成30年度の「農地・水・環境のつどい」において、愛知県知事賞を受賞しました。今後も、農家・非農家が協働で活動し、地域資源や自然環境を適切に維持管理していきます。



戸蓋（堰板）の設置



路線毎の戸蓋管理



こども会と連携した環境美化活動

【高御堂南地域環境保全会 代表 小澤健三】

■2. 活動組織へのインタビュー

～^{はす} ^{がた} 潟 環境保全チーム(新潟県 ^{きたかんぼら} 北蒲原 郡 ^{せいろう} 聖籠 町)～■

インタビューの趣旨

活動組織の代表者等から見た本制度の効果や、女性役員の思い、活動にあたって工夫していることを幅広く紹介したいと考え、本記事を作成しました。

組織の概要

新潟県の北部に位置する聖籠町の、一級河川 ^{かじ} 加治川と ^{しばた} 新発田川に囲まれた沖積層からなる平坦な水田地帯を拠点に活動。活動範囲は、田 143.6ha。対象施設は、開水路 49.7km、農道 20.0km。

「安全で安心な環境づくり」をテーマに、平成 19 年度の農地・水・環境保全向上対策の制度開始時から共同活動に取り組んでいる。

◎今回は組織の代表と二人の女性役員にインタビューを行いました。

～インタビュー～

Q：組織設立時から、代表又は役員として活動をされていたのでしょうか。

A：(曾根氏)

いいえ。私は平成 29 年度から代表となりました。設立当初は構成員として活動に参加していましたが、役員に就任後、事前に代表から次期代表であることを伝えられました。

(佐久間氏・五十嵐氏)

私たちが役員になったのは、平成 30 年度からです。それまでは、自治会の代表として組織の総会に参加していましたが、代表より突然指名されました。

Q：活動を行って良かったことをお聞かせください。

A：(曾根氏)

農業者だけでなく自治体や子供会、老人会など多様な団体が活動に参加してくれるようになったことで、草刈りや泥上げ、砂利敷きなどの大変さや基盤整備の重要性を理解してく



代表 曾根氏



佐久間氏(左)、五十嵐氏(右)

れるようになり、地域内の話し合いの場が多くなりました。

(佐久間氏・五十嵐氏)

子どもから老人まで一緒に環境美化活動を行うことで、集落がきれいになり、地域の活性化が進んだことが良かったです。また、活動の成果を地域住民に褒めてもらうことで達成感を感じ、励みになっています。

Q：多様な団体の参加を促すために工夫していることはありますか？

A：(曾根氏)

農業をやめてしまった方にも構成員として残って活動に参加してもらったり、草刈り機を購入して作業の効率化を図るなどの工夫をしています。

(佐久間氏・五十嵐氏)

二人とも幼稚園の教諭をしていたことで、顔見知りが多く、声かけをするだけで多くの方が活動に参加してくれます。

Q：女性役員がいることの利点をお聞かせ下さい。

A：(佐久間氏・五十嵐氏)

これまでは農業者中心の共同活動が主な活動でしたが、代表が私たちを信頼してくれているため、女性の提案が通りやすく、非農家を巻き込んだ活動の幅が広がりました。また、もしどちらか1名が役員だった場合、会議等で積極的に提案をすることが難しかったので、二人同時に役員になれて良かったです。

Q：今後、組織の広域化を行う予定はありますか？

A：(曾根氏)

いいえ。広域化を行う予定は、今のところはありません。現在、本組織では活動に対する地域住民の理解があり、参加者も十分に確保できています。また広域化を行うには、地域住民の理解・合意形成に時間がかかるため、現在の規模のまま活動を充実させていきたいと考えています。

Q：今後の意気込みをお聞かせください。

A：(曾根氏)

今後も計画的に代表の引継を行っていき、活動を長く継続させていくことで、蓮瀧地区の農業の活性化に貢献していきたいです。

(佐久間氏・五十嵐氏)

今年2年目で、まだ動き出したばかりなので、活動を継続していくことが目標です。私たちのアイデアに賛同してくれる多くの方々と一緒に更に活動に広がりを持たせていきたいです。

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】
【北陸農政局 農地整備課 多面的機能支払推進室】

■ 3. 「コープみらいフェスタ 池袋サンシャインシティ」に出展しました！ ■

9月29日（日）に池袋サンシャインシティで開催された「コープみらいフェスタ」に農林水産省多面的機能支払推進室が出展しました。

多面的機能支払推進室のブースでは、一般の方向けに本交付金制度がどのように役立っているのかご理解いただくために、パネル展示のほか、「田んぼの生きもの探検 VR」の体験、本交付金の取組をきっかけとして生まれた商品「特別栽培米ひまわり米」などの展示を行いました。たくさんのお子様達にVRを体験してもらったと同時に、現在募集している多面的機能支払交付金の愛称についても多くの方に案を書いていただきました。初めて多面的機能について知った方も多く、農業・農村の多面的機能や本交付金制度について広く理解してもらえ、良いきっかけになりました。



また、10月20日（日）は「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」に同様の内容で出展しますので、ぜひお越しください。

【開催情報】

「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」

▽日時▽ 令和元年 10月20日（日）10:00～15:30

▽場所▽ さいたまスーパーアリーナ

- ・ JR「さいたま新都心駅」下車徒歩3分
- ・ JR「北与野駅」下車徒歩7分

▽コープみらい HP▽

https://mirai.coopnet.or.jp/brand/coopmirai_festa/saitama/

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 4. 農村振興局フェイスブック ■

多面的機能支払交付金による取組は、農村振興局フェイスブックでも写真と一緒に紹介しています。今回は、記事を2本ご紹介します。

【カメラを構えずにはいられない！赤と緑のコントラスト】

今回は、佐賀県 おき 小城市の素晴らしい景色についての記事です。全国棚田百選にも選定された約600枚もの棚田の緑色と、そのあぜ道に一齐に咲く彼岸花の赤色が見事なコントラストを創り出しています。詳しくはフェイスブックの記事をご覧ください。

▽記事はこちら（Facebookリンク）（9月19日投稿）▽

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/2307688066150278>

【台風・大雨・地震などの被災地域で多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる農業者の皆様へお知らせ】

本記事では、被災地域での多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金を活用した復旧活動や、返還措置の免除についてのお知らせを行っています。詳しくはフェイスブックの記事をご覧ください。

▽記事はこちら（Facebookリンク）（9月25日投稿）▽

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/2311947919057626>

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】



■ 5.「令和元年度 田園自然再生活動の集い」開催のご案内■

(一社)地域環境資源センターでは、田園自然再生活動を推進するため、「田園自然再生活動の集い」を開催しています。今年度は、「世界に広がる農村の魅力 地域づくりのこれから」をテーマとして、田園自然再生活動の今後の展開について考えます。

▽日程▽

令和元年 11月 25日(月) 13:00~17:10

▽会場▽

東京大学 弥生講堂(一条ホール)(東京都文京区弥生 1-1-1)

▽参加費▽

無料(交流会は別途)

▽申込み・問合せ先▽

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

(一社)地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局(担当:藤田)

TEL:03-5425-2461

FAX:03-3432-0743

E-mail:denen-saisei@jarus.or.jp

◎イベント詳細(参加申込書)

<http://www.acres.or.jp/Acres/denen/R1/tsudoj.html>

【(一社)地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局】

■編集後記■

先日、初めてランニングシューズを購入しました。私は運動が得意ではありませんが、自分の健康や気分転換のために走ろうと決意し、次の日にはスポーツ用品店にいました。先週末には、合わせて約8kmのランニングとウォーキングを土日両日行いました。普段は通らない道を走り、おしゃれなレストランやカフェを見つけることは楽しかったですが、週明けには筋肉痛になってしまいました。普段は3日坊主なことが多いので、いつまで続けられるか分かりませんが、楽しみつつ続けていきたいと思えます。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→

◇令和元年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、新谷）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
